

## 法学研究科(博士課程前期課程)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。また、指導教員による個別指導に加え、プログラム・分野毎の集団指導体制を取り入れることにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。

### 1. 学位:修士(法学)CP

#### 1-1 研究者養成プログラム

国内外の大学等の研究・教育機関において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての基礎的な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。

・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。

・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

#### 1-2 高度社会人養成プログラム

現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・实际的・総合的な解決能力とともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。

・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。

・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文またはリサーチ・ペーパーを作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

#### 1-3 グローバルマスタープログラム(GMAP)

国内外のビジネス界において英語で法律実務・ビジネス実務に従事する能力を身につける

ことができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:他の人と協働して課題解決にあたる能力を身につけることができるよう、模擬仲裁科目等を、また外国において現地の人と協働して実務につく能力を身につけることができるよう、実習科目を、それぞれ開設する。
- ・国際性:法学の外国語文献の読解能力および英語での会話能力を身につけることができるよう、Introduction to Legal Englishおよび先端法学専門科目を開設する。
- ・専門性:法学を中心とする先進的な専門知識を身につけることができるよう、先端法学専門科目を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文またはリサーチ・ペーパーを作成することができるよう、社会科学基礎科目および演習(論文作成)を開設する。

なお、以上1-1～1-43に掲げた科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

## 2. 学位:修士(政治学)CP

### 2-1 研究者養成プログラム

国内外の大学等の研究・教育機関において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての基礎的な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

### 2-2 高度社会人養成プログラム

現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・实际的・総合的な解決能力とともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。

・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。

・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文またはリサーチ・ペーパーを作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

なお、以上2-1～2-2に掲げたこれらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

## 法学研究科(博士課程後期課程)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。また、指導教員による個別指導に加え、プログラム・分野毎の集団指導体制を取り入れることにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。

### 1. 学位:博士(法学)CP

#### 1-1 研究者養成プログラム

法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としてより高度な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。

・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。

・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

## 1-2 高度社会人養成プログラム

高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうるより高度な問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

## 1-3 高度専門法曹養成プログラム

極めて専門的・先端的な法分野で活躍できる法律家としての能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、高度専門法曹特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学分野の研究理解力を身につけることができるよう、高度専門法曹特殊講義を開設する。
- ・専門性:高度専門法曹にとって必要な極めて専門的・先端的な知識を身につけることができるよう、高度専門法曹特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文導入演習、論文指導および論文作成)を開設する。

なお、以上1-1～1-3に掲げた科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

## 2. 学位:博士(政治学)CP

### 2-1 研究者養成プログラム

法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としてより高度な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能

力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。

・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。

・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

## 2-2 高度社会人養成プログラム

高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうるより高度な問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。

・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。

・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

なお、以上2-1～2-2に掲げた科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

## 法学研究科(実務法律専攻専門職学位課程)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科実務法律専攻は以下に示す方針にしたがってカリキュラムを編成する。

・人間性:法曹として求められる高い倫理観を身につけることができるよう、対話型演習法曹倫理を開設する。

・専門性:すべての法曹に必要な基本的な知識を身につけることができるよう、法律基本科

目(必修)および実務基礎科目(必修)を開設することに加え、これらの知識を基盤とした応用能力や、ビジネス・ローを中心とした先端的法分野についての知識およびこれを基盤とした応用能力を身につけることができるよう、必修科目以外の法律基本科目・実務基礎科目のほか、展開・先端科目、R&Wゼミを開設する。

- ・創造性:新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目、R&Wゼミ、法律理論研究科目を開設する。
- ・国際性:多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目、基礎法学・隣接科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、実習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

博士課程前期課程カリキュラムマップ

| ・GMAP以外のプログラム |                                   | 1年次                 |                | 2年次            |                |
|---------------|-----------------------------------|---------------------|----------------|----------------|----------------|
|               |                                   | 前期                  | 後期             | 前期             | 後期             |
| 人間性           | 社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力 | 方法論特殊講義(※1)         | 方法論特殊講義        | 方法論特殊講義        |                |
| 国際性           | 世界の法学・政治学分野の研究理解力                 | 外国文献研究(※2) 特殊講義(※3) | 外国文献研究 特殊講義    | 外国文献研究 特殊講義    |                |
| 専門性           | 法学・政治学分野の先進的な専門知識                 | 特殊講義                | 特殊講義           | 特殊講義           | 特殊講義           |
| 創造性           | 論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力            | 演習 (法学政治学論文指導)      | 演習 (法学政治学論文指導) | 演習 (法学政治学論文指導) | 演習 (法学政治学論文作成) |

※1 方法論特殊講義:方法論特殊講義(法学リサーチデザイン)、方法論特殊講義(政治学リサーチデザイン)、方法論特殊講義Ⅰ、方法論特殊講義Ⅱ、方法論特殊講義Ⅲ

※2 外国文献研究: 法文学文献研究、政治学文献研究

※3 特殊講義: 実定法学特殊講義(憲法)、実定法学特殊講義(行政法)、実定法学特殊講義(民法)、実定法学特殊講義(商法)、実定法学特殊講義(民事手続法)、実定法学特殊講義(刑事法)、実定法学特殊講義(租税法)、実定法学特殊講義(知的財産法)、実定法学特殊講義(労働法)、実定法学特殊講義(社会保障法)、実定法学特殊講義(環境法)、実定法学特殊講義(経済法)、実定法学特殊講義(国際民事法)、実定法学特殊講義(国際経済法)、実定法学特殊講義(国際法)、基礎法学特殊講義(比較法)、基礎法学特殊講義(法史)、法社会学特殊講義(法システム)、法社会学特殊講義(紛争過程論)、政治学特殊講義(国際関係論)、政治学特殊講義(政治理論)、政治学特殊講義(政治外交史)、政治学特殊講義(西洋政治史)、政治学特殊講義(政治過程論)、政治学特殊講義(行政学)、政治学特殊講義(現代政治)、政治学特殊講義(比較政治)、法政策特殊講義(憲法問題分析)、法政策特殊講義(行政法政策論)、法政策特殊講義(行政法過程論)、法政策特殊講義(金融商品取引法)、法政策特殊講義(労働・社会保障法政策論)、法政策特殊講義(競争政策論)、法政策特殊講義(国際法政策論)、法政策特殊講義(法文化)、法政策特殊講義(法思想)、法政策特殊講義(現代司法論)、法政策特殊講義(ADR論)(イタリックは法曹リカレント養成プログラム以外)

・GMAP

| ・GMAP |  | 1年次   |   | 2年次   |   |
|-------|--|---|---|---|---|
|       |  | 前期  | 後期  | 前期  | 後期  |
| 人間性   | 他の人と協働して課題解決にあたる能力<br>外国において現地の人と協働して実務につく能力 | 模擬仲裁科目(※1)等   | 模擬仲裁科目等   |   |   |
| 国際性   | 法学・政治学の外国語文献の読解能力及び英語での会話能力                  | Introduction to Legal English 1 & 2<br>先端法学専門科目(※2) | Introduction to Legal English 1 & 2<br>先端法学専門科目 | Introduction to Legal English 1 & 2<br>先端法学専門科目 | Introduction to Legal English 1 & 2<br>先端法学専門科目 |
| 専門性   | 法学を中心とする先進的な専門知識                             | 先端法学専門科目  | 先端法学専門科目  | 先端法学専門科目  | 先端法学専門科目  |
| 創造性   | 論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力                       | 社会科学基礎科目(※3)  | 社会科学基礎科目  | 社会科学基礎科目  | 演習 (法学政治学論文作成)                                  |

※1 模擬仲裁科目: Law Asia Workshop, FDI Moot Workshop, Vis Moot Workshop

※2 先端法学専門科目: Japanese Legal System I, Japanese Legal System II, International Investment Law 1, International Investment Law 2, International Business Litigation (A), International Business Litigation (B), ADR in Asia and the Rest of the World, International Arbitration 1, International Arbitration 2, International Arbitration Institutions in Asia, Comparative Law in Asian Context 1(Kobe SALAD), WTO Law, Law Asia Workshop

※3 社会科学基礎科目: Macroeconomics, Microeconomics, Econometrics, Business Economics, Financial Accounting, Financial Management

博士課程後期課程カリキュラムマップ

| ・研究者養成および高度社会人養成プログラム |                                      | 1年次                 |                | 2年次            |      | 3年次  |                |
|-----------------------|--------------------------------------|---------------------|----------------|----------------|------|------|----------------|
|                       |                                      | 前期                  | 後期             | 前期             | 後期   | 前期   | 後期             |
| 人間性                   | 社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力 | 方法論特殊講義(※1)         | 方法論特殊講義        | 方法論特殊講義        |      |      |                |
| 国際性                   | 世界の法学・政治学分野の研究理解力                    | 外国文献研究(※2) 特殊講義(※3) | 外国文献研究 特殊講義    | 外国文献研究 特殊講義    | 特殊講義 | 特殊講義 |                |
| 専門性                   | 法学・政治学分野の先進的な専門知識                    | 特殊講義(※4)            | 特殊講義           | 特殊講義           | 特殊講義 | 特殊講義 |                |
| 創造性                   | 論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力            | 演習 (法学政治学論文指導)      | 演習 (法学政治学論文指導) | 演習 (法学政治学論文指導) |      |      | 演習 (法学政治学論文作成) |

※1 方法論特殊講義:方法論特殊講義Ⅰ、方法論特殊講義Ⅱ、方法論特殊講義Ⅲ

※2 外国文献研究: 法文学文献研究、政治学文献研究

※3 特殊講義: 実定法学特殊講義(憲法)、実定法学特殊講義(行政法)、実定法学特殊講義(民法)、実定法学特殊講義(商法)、実定法学特殊講義(民事手続法)、実定法学特殊講義(刑事法)、実定法学特殊講義(租税法)、実定法学特殊講義(知的財産法)、実定法学特殊講義(労働法)、実定法学特殊講義(社会保障法)、実定法学特殊講義(環境法)、実定法学特殊講義(経済法)、実定法学特殊講義(国際民事法)、実定法学特殊講義(国際経済法)、実定法学特殊講義(国際法)、基礎法学特殊講義(比較法)、基礎法学特殊講義(法史)、法社会学特殊講義(法システム)、法社会学特殊講義(紛争過程論)、政治学特殊講義(国際関係論)、政治学特殊講義(政治理論)、政治学特殊講義(政治外交史)、政治学特殊講義(西洋政治史)、政治学特殊講義(政治過程論)、政治学特殊講義(行政学)、政治学特殊講義(現代政治)、政治学特殊講義(比較政治)、法政策特殊講義(憲法問題分析)、法政策特殊講義(行政法政策論)、法政策特殊講義(行政法過程論)、法政策特殊講義(金融商品取引法)、法政策特殊講義(労働・社会保障法政策論)、法政策特殊講義(競争政策論)、法政策特殊講義(国際法政策論)

※4 高度社会人養成リカレントプログラムにおいては、実務法律専攻科目(法政策特殊講義(法文化)、法政策特殊講義(法思想)、法政策特殊講義(現代司法論)、法政策特殊講義(ADR論))を含む。

・高度専門法曹養成プログラム

| ・高度専門法曹養成プログラム |                              | 1年次            |                | 2年次            |            | 3年次        |                |
|----------------|------------------------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|
|                |                              | 前期             | 後期             | 前期             | 後期         | 前期         | 後期             |
| 人間性            | 人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力 | 高度専門法曹特殊講義(※)  | 高度専門法曹特殊講義     | 高度専門法曹特殊講義     |            |            |                |
| 国際性            | 世界の法学分野の研究理解力                | 高度専門法曹特殊講義     | 高度専門法曹特殊講義     | 高度専門法曹特殊講義     |            |            |                |
| 専門性            | 高度専門法曹にとって必要な極めて専門的・先端的な知識   | 高度専門法曹特殊講義     | 高度専門法曹特殊講義     | 高度専門法曹特殊講義     | 高度専門法曹特殊講義 | 高度専門法曹特殊講義 |                |
| 創造性            | 論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力    | 演習 (TLP論文導入演習) | 演習 (法学政治学論文指導) | 演習 (法学政治学論文指導) |            |            | 演習 (法学政治学論文作成) |

※ 高度専門法曹特殊講義: 租税手続法・争訟法、企業課税(国際租税)、租税法例・事例研究、独占禁止法実務Ⅰ、独占禁止法実務Ⅱ、独占禁止法例・事例研究、知的財産訴訟、知的財産契約、知的財産法判例・事例研究、労働法判例研究、エンタテインメント法実務、Dispute Management for International Business 1、Dispute Management for International Business 2

## 法学研究科(実務法律専攻専門職学位課程)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科実務法律専攻は以下に示す方針にしたがってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:法曹として求められる高い倫理観を身につけることができるよう、対話型演習法曹倫理を開設する。
- ・専門性:すべての法曹に必要な基本的な知識を身につけることができるよう、法律基本科目(必修)および実務基礎科目(必修)を開設することに加え、これらの知識を基盤とした応用能力や、ビジネス・ローを中心とした先端的法分野についての知識およびこれを基盤とした応用能力を身につけることができるよう、必修科目以外の法律基本科目・実務基礎科目のほか、展開・先端科目、R&Wゼミを開設する。
- ・創造性:新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目、R&Wゼミ、法律理論研究科目を開設する。
- ・国際性:多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目、基礎法学・隣接科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、実習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。



|     | 修了までに達成すべき学習目標  |                      | 1L   | 2L  | 3L  |
|-----|---|----------------------|--|---|---|
| 性人間 | 法曹として求められる高い倫理観   |                      |  | 対話型演習法曹倫理   |   |
| 専門性 | 職業法曹として必要な高度の専門能力・知識の修得                                 | すべての法曹に必要な基本的知識      | 憲法基礎、行政法基礎、民法基礎Ⅰ、民法基礎Ⅱ、民法基礎Ⅲ、民事訴訟法、会社法、刑事実体法Ⅰ、刑事実体法Ⅱ、刑事手続法、法解釈基礎Ⅰ、法解釈基礎Ⅱ | 対話型演習憲法訴訟Ⅰ、対話型演習行政法Ⅰ、対話型演習行政法Ⅱ、対話型演習契約法Ⅰ・不法行為法、対話型演習契約法Ⅱ、対話型演習物権・責任財産法、対話型演習商法Ⅰ、対話型演習商法Ⅱ、対話型演習刑事実体法Ⅰ、対話型演習刑事手続法 | 対話型演習家族法、対話型演習民事訴訟法、対話型演習刑事実体法Ⅱ、対話型演習憲法訴訟Ⅱ、対話型演習民法法総合   |
|     |   | 基本的な知識を基盤とした応用能力     |  | 応用民事訴訟法A、応用民事訴訟法B   | 応用刑事手続法、商取引法  |
|     |   | 先端的法分野についての知識および応用能力 |  | 対話型演習民事裁判実務、対話型演習刑事手続実務、法律文書作成演習Ⅰ、法律文書作成演習Ⅱ   | ローヤリング、エクスターンシップ、公法系訴訟実務基礎、民事裁判演習、実務刑事法総合、刑事裁判実務、ワークショップ企業内法務、ワークショップ経済法実務、R&Wゼミ刑事実務、R&Wゼミ企業法務  |
|     |   |                      |  |   | R&Wゼミ知的財産法、R&Wゼミ租税法、R&Wゼミ労働法、R&Wゼミ経済法、R&Wゼミ倒産法、R&Wゼミ国際関係法(私法系)、R&Wゼミ環境法<br>民事執行・保全法、倒産法、刑事学、金融商品取引法、経済刑法、特許法、著作権法、租税法Ⅰ、租税法Ⅱ、基礎労働法、応用労働法、経済法Ⅰ、経済法Ⅱ、消費者法、環境行政法、環境訴訟、社会保障法 |
| 創造性 | 新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力 |                      |  |   | 先端実務租税法判例・事例研究、先端実務経済法判例・事例研究、先端実務知的財産法判例・事例研究、先端実務知的財産法判例・事例研究Ⅱ、法学研究論文演習   |
| 国際性 | 多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力                |                      |  | 比較憲法、国際法、国際人権法、国際経済法、国際私法・国際民事訴訟法、国際取引法、ADR論、社会保障法、法文化、法思想、アメリカ法、ヨーロッパ法、アジア法、中国法、現代司法論、R&Wゼミ法社会学                |   |